

山に入る際はヒグマ・山火事に注意！

ヒグマに注意！！ヒグマに遭わないために

ヒグマによる人身被害は、春と秋に多く発生し、山菜・キノコ採りの活動中が3分の2と最も多く、残りの3分の1は農作業や釣りなどです。また、近年ヒグマの個体数は増加傾向にあり、生息域が拡大していることから、これまで出没のなかった山林以外の場所でもヒグマが出没する可能性があります。ヒグマは、人と突然出くわしたことにより、驚いて人を襲うため、ヒグマに「出くわさない」ことが何より大切です。そのため、登山や山菜取りで山林に入るときは、次のことに注意し、万が一ヒグマに遭ったときは、あわてず落ち着いて行動してください。



野山でヒグマに遭わないための基本的なルール

事前にヒグマの出没情報を確認する
 ※右側のコードから市HPのヒグマの出没目撃情報が確認できます。



単独行動を避け、複数で行動する



鈴など音の出るものを鳴らす



クマの足跡やフンを見つけたら、すぐに引き返す



山火事注意

4月1日から6月30日までは、林野火災危険期間です。（4月10日から5月20日までは強調期間）林野火災の出火原因は、「ゴミ焼き」「たばこのポイ捨て」「たき火」などの火気の取り扱い不注意や不始末による人為的な過失によるものが大半を占めています。火災原因によっては、賠償責任が発生します。林野火災危険期間・強調期間はもとより、期間外においても林野火災を起こさないように注意してください。

原則、野焼きは禁止されていますが、農業・林業を営むためにやむを得ず行う場合は、市役所市民部環境生活課、または、名寄消防署に連絡し、次のことに注意して実施してください。

原則禁止の野焼きをやむを得ず行う場合の注意点

① 風の強い日は避ける。
 ※天候によっては風が吹いていなくても突然吹き始め、風向きが変わる場合があります。



② 一度に広い範囲で行わず、刈った草などを少しずつまとめ区画ごとに行う。

③ 多人数で行い、監視する人や消火する人などの役割分担を決める。



④ 火のそばを離れず、必ず消火準備が整ってから行う。

⑤ 山林への延焼の恐れがある場所では行わない。

問い合わせ

遭難予防に関すること … 防災担当（名寄庁舎3階）☎01654③2111（内線3327）

ピヤシリ山・ピヤシリ自然休養林に関すること … 産業振興課（名寄庁舎3階）☎01654③2111（内線3344）

ヒグマの目撃情報・山火事に関すること … 耕地林務課林務係（風連庁舎1階）☎01655③2511（内線2317）